



病院事務

Matsukawa
Kana

医学部附属病院医務課
入院診療報酬掛 (主任)
松川 香菜
2007年採用



- 入院患者の会計計算業務
- 入院診療報酬明細書の作成業務
- 入院診療報酬請求に係る総括業務
- 診療業務標準化委員会の運営補助

1 day Schedule



My KU PRIDE

“一歩ずつ前へ”

日々の積み重ねはとても大事ですが、そこに工夫や改善を加わえていくことで少しずつでも前へ進んで成長していきたいと考えています。

Q1 職務内容について



毎日患者さんが入退院していく中で、会計計算は日々の業務として欠かすことはできません。

会計計算のうち大半は電子カルテに入力された診療行為が自動的に会計システムに反映され、担当者は診療報酬請求上正しい請求になっているか確認することが主な業務となります。一方で、病衣や有料個室の使用料金など紙媒体で運用している伝票もあるため、記載内容に疑問点があれば医師や病棟等に確認しながら会計入力を行い、何度も請求金額に誤りがなく確認しながら処理を行います。また、患者さんからの問合せに対応することもあります。これらの業務によって日々生み出される収入は僅かであっても、入院として1年間の収入は約250億円にもなり、これは病院収入の約7割を占める金額となるため、日々の会計計算の積み重ねの大切さを痛感します。

Q2 職場の雰囲気



毎月の業務スケジュールがほぼ決まっているため、忙しい時期は全員で協力して乗り越え、業務が落ち着いた時期は出来るだけ早く帰ったり、休暇を取得して気分転換することが出来るメリハリのある職場です。基本的に毎月いずれか1日は休暇を取得するという雰囲気があるので、お互いに遠慮して休めないということはありません。このような環境でそれぞれ気分転換して、新たな気持ちで仕事に取り組むことで、個々の業務だけでなく、掛全体の業務にも良い影響を与えていると思います。

また、病院の業務経験豊富な上司や先輩がたくさんいらっしゃるのので、何か困ったことがあれば相談に乗っていただけるという安心感があります。

Q3 文部科学省行政実務研修の経験を経て



2012年4月から3年間、文部科学省の行政実務研修に参加する機会をいただき、大学病院に対する補助金の交付や額の確定、大学病院に関する調査など大学病院に関係する業務を中心に幅広く行政実務を経験させていただきました。全国の大学病院の情報を収集する中で、京大病院のことを客観的に見る機会を得たことは非常に有意義でした。中からは気付かないことも、外から見ることで初めて見えることもあり、幅広い視点で客観的に見ることの大切さを感じました。また、研修を通して他大学の方々との繋がりを築けたことも大きな収穫であり、今後もこの繋がりを大事にしていきたいと思います。

Q4 京大職員を目指す方へのメッセージ



病院事務というと専門的な知識が無いとやっていけないと思われるかもしれませんが、採用時に専門的な知識がなくても業務に携わる中で必要に応じて学んでいくことで知識を得ることができます。

また、直接的ではなくとも医療に関わる職場で働くことはやりがいを感じますし、医師、看護師、薬剤師など様々な職種の方々と関わり合いながら働くことでそれぞれの立場を理解しながら業務を行う力も身についていくと思います。病院に興味のある皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

Q5 私のお気に入り



通勤の際に北部構内キャンパスを北から南へ自転車で通るのですが、木々の変化や人通りの変化などで季節を感じることができるお気に入りのスポットです。